

県立播磨南高等学校創立 40 周年記念式典 式辞

播磨の山並みが色づき始め、菊花の香り漂う今日のよき日に、兵庫県立播磨南高等学校創立四十周年記念式典を挙行できますことは、学校をあげての大きな喜びであり、これまで本校を支えてくださいました関係者の皆さまのご支援、ご協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

また、ご多用にもかかわらず、兵庫県会議員 岡つよし様、播磨町長 佐伯謙作様をはじめ、多数のご来賓の皆さまにご臨席を賜り、高いところからではございますが、心より感謝申し上げます。

本校は、昭和 59 年 4 月、加印地区第 9 番目の全日制普通科高校として設立されました。その開校にあたりましては、設立の 5 年前から播磨町に県立高校を設置して欲しいという地域の皆さまの熱い思いの上に本校が設立されたことを、今の我々は胸に刻んでおかなければなりません。

開校当初はひと学年 8 学級でスタートし、昭和 62 年には 11 学級となりました。その後、少子化の影響によりクラス数は減っていき現在の 4 学級となりましたが、素直で元気な学校風土は引き継がれています。また、卒業生は 11,822 名を数え、多くの先輩諸氏が各界で活躍されておられることは、我々の誇りとするところです。

生徒の皆さん、今、私たちが播磨南高校で学ぶことができるのは、先輩方、地域の方々の 40 年間の積み重ねがあるからです。だからこそ私たちは、地域のことを知り、地域に貢献していく事が大切であることを理解しておいてください。

本校は、昭和 61 年に英語コースを設置し、その後グローバル情報コミュニケーションコース、芸術類型、芸術保育類型へと改編され、令和 4 年に地域デザイン類型となりました。国際交流では、平成 18 年にオーストラリア・キーズバラ校と姉妹校提携を結び、相互訪問を実施してきました。芸術保育類型では、音楽・美術の学びを深めて芸術系大学等への進学や、保育系大学等へ進学したのち、保育士・幼稚園教諭と

して活躍している卒業生も多数います。現在の地域デザイン類型では、播磨町と連携協定を結び、播磨町役場の全面的支援を受けて、生徒たちが地域を学び、地域課題を考え、課題解決に取り組む探究活動を行っています。また播磨町での様々なイベントに参加するボランティア活動は、地域の皆様から感謝の意をいただけるだけでなく、普段の学校生活とは違う生徒の表情が見られる、とても意義あるものとなっており、地域探究活動とボランティア活動は、本校の特色ある教育活動となっています。

校訓である「自律・創造・友愛」のもと、「翼をつけて飛びたとう」のスローガンを通して、播磨南高校の生徒が自らの考えや意志を持って学校生活に取り組み、自らが行動した結果に責任を持つ主体性を伸ばすことで「未来への道を切り拓く力」を有した生徒の育成を図っています。

創立 40 周年を迎えた今日、卒業生が築き上げてきた伝統を受け継ぎ、さらに発展させ、次の世代へ受け渡していくことが我々の使命であると自覚し、次の 50 周年に向けて決意も新たにさらなる播磨南高等学校の飛躍をここにお誓い申し上げ、式辞といたします。

令和 5 年 11 月 3 日 兵庫県立播磨南高等学校 校長 黒岩 寛